令和七年度学力検査問題

国語 ②（教育学部・医学部看護学科）前期日程

（問題紙　一～十六ページ　別紙解答用紙枚数　一枚）

解答時間　一〇〇分

注意事項

一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

二、本冊子のページ数は右に示したとおりである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがある場合は申し出ること。

三、解答はすべて**別紙解答用紙のそれぞれの解答欄**に記入すること。

四、解答用紙の指定された欄（**二箇所**）に、忘れずに本学の**受験番号**を記入すること。

五、試験場内で配付された問題冊子は試験終了後持ち帰ること。

一

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

（浜田寿美男『「私」とは何か』より。出題に際し原文の一部を改めた。）

問一　[A]・[B]・[C]に当てはまる最も適切な見出しを、次の選択肢の中からそれぞれ一つ選んで、その記号を記しなさい。

ア　相手の立場に立つということは……

イ　あっ、雪！

ウ　〈ここのいま〉にはないもう一つの世界を立ち上げる

エ　ことばは対話である

オ　身体に根ざし、身体を越える

問二　[X]に当てはまる最も適切な語句を、本文中から三字以内で抜き出しなさい。

問三　二重波線部ｃの「あっ、雪！」を読んだときの理解の仕方は、波線部ａ・ｂの「あっ、雪！」を聞いたときの理解の仕方とどのような点で異なるか。四〇字以内で述べなさい。

問四　傍線部「その身体の位置を基点とする遠近法をまぬがれることができない」を、比喩表現を使わずに三〇字以内で言い換えなさい。

問五　本文で言われている「ことばの宇宙」が成り立つための条件は何か。筆者の例示をふまえて七〇字以内で述べなさい。

二

次の文章のうち、【A】は森鷗外の小説「金毘羅(こんぴら)」の一部で、主人公の博士は、病気にかかった娘の百合(ゆり)と赤ん坊(赤さん)を医師の広沢教授やその助手の西田に診察してもらっていた。【B】は同じく鷗外の終末期医療に関する随筆「甘瞑(かんめい)の説」の一部である。それぞれの文章を読んで、後の設問に答えなさい。(＊は本文の後に注があることを示す。また、出題に際し、表記を改めた。)

【A】

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

（森鷗外「金毘羅」より）

【B】

（森鷗外「甘睼の説」より）

〔注〕

＊お瑩さん＝博士の家の女中で、子どもたちの世話もしている。
＊性命＝生命に同じ。
＊雪平＝陶製の平らな鍋。
＊金盥＝金属製のたらい。ここでは小型で、部屋の乾燥を防ぐため、湯気を立てるのに使われている。
＊合点＝がてん。うなずくこと。
＊パラダイス＝東京大学の前にあった洋食屋。
＊口上書＝口頭で述べることを文章に記したもの。
＊赤い切＝金刀比羅宮で祈祷をしてもらった赤い布切れ。
＊苟存＝いたずらに生きながらえること。

問一　[a] ～ [e] のカタカナを漢字に改め、楷書で丁寧に書きなさい。

問二　傍線部①に「そんな馬鹿な事を言ってはいけない」とあるが、どのような点で「馬鹿な事」なのか、次の選択肢の中から最も適当なものを一つ選んで、その記号を記しなさい。

ア　百合さんの死を確実なものと考えている点

イ　百合さんと赤ん坊とを比べて、赤ん坊の死はあまり悲しく感じないと言っている点

ウ　百合さんの死をきっかけに、悲しみのあげくに自分自身もどうにかなってしまうかもしれないと考えている点

エ　百合さんの思い出を思い出すのをいやなこととして語っている点

オ　赤ん坊の葬儀のことを考えず、百合さんのことばかり言っている点

問三　傍線部②に「隠してした悪事を人に知られたような」とあるが、ここで、湿布をやめることはどのような点で比喩的に「悪」と言えるのか、二〇字以内で説明しなさい。

問四　傍線部③に「百合さんの性命のために弁護する」とあるが、どういうことか、四〇字以内で説明しなさい。

問五　【B】の傍線部④「死の将に自ら至らんとするや、医は強いてこれを遅くして、病人に苦を喫せしむべきや」（患者の死が近づいている時、医師は患者を苦しませてまでその死を遅らせるべきかどうか）という問いに対して、【A】の、百合さんに西洋料理を食べさせた時の博士ならどう答えると思うか、その回答を考えて、四〇字以内で答えなさい。（現代の書き言葉でよい）

三　次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（＊は本文の後に注があることを示す。また、出題に際し表記を改めたところがある。）

著作権の関係上公表しない

（『大和物語』第一〇一段より）

〔注〕＊季縄の少将＝藤原季縄。右近衛少将を務めた。
＊内＝内裏。
＊公忠＝源公忠。公忠が近江守（近江国の長官）となったのは二十年程後。この出来事のころは、掃部の助（掃部寮の次官）と蔵人（天皇の秘書官）を務めていた。
＊近衛の御門＝陽明門のこと。大内裏の東側の門。
＊上の条り＝以上のように

問一 二重傍線部a～eの語は、誰に対する敬意を表しているか。次の選択肢の中からそれぞれ一つ選んで、その記号を記しなさい。

ア 季縄　イ 公忠　ウ 帝　エ 作者（語り手）　オ 読者（聞き手）

問二 傍線部①「乱り心地はまだおこたり果てねど」、②「言はましものを」をわかりやすく現代語訳しなさい。

問三 点線部「後に会はむ」と同じ内容の表現を、本文中から抜き出しなさい。

問四 波線部「近衛の御門に出で立ちて、待ちつけて乗りて馳せ行く」に表れている公忠の気持ちを、三〇字以内で説明しなさい。

四　次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（＊は本文の後に注があることを示す。また、設問の都合で、本文の一部を省略し、送り仮名を省いたところがある。）

著作権の関係上公表しない

（劉知幾『史通』より）

〔注〕
＊佇＝たたずんで待つ
＊課＝評定する
＊史職＝史官。歴史を編集する役人のこと。
＊史＝ここでは、史官を指す。
＊不避強禦＝強くて善を拒み続ける権力者から逃げないこと。
＊董狐・南史・丘明・子長・史佚・倚相＝中国古代の史官。
＊編次勒成＝順序に従って版木に刻み、完成させること。
＊鬱＝物事がさかんなさま。

問一　二重傍線部a・bの読みを、送り仮名も含めて答えなさい。（現代仮名遣いでよい。）

問二　傍線部①について、官職を設置すると、どのような点で難しさが生じると述べているか。それを表す最も適当なものを、次の選択肢の中から一つ選んで、その記号を記しなさい。

ア　玉石混淆　　イ　上意下達　　ウ　信賞必罰　　エ　適材適所　　オ　羊頭狗肉

問三　傍線部②を、現代語訳しなさい。

問四　筆者の考える「史職」にふさわしい人物とはどのような者か、三〇字以内で説明しなさい。